前事業年度の完成工事、未成工事
工事の経歴がない場合でも「なし」と記入して添付

様式第二号（第二条、第十九条の八関係）

建設工事の種類毎に作成。一件の請負契約を分割して
複数の建設工事の経歴としてはならない。
↓

経営事項審査（経審）を受ける場合は、
免税事業者を除いて、必ず「税抜」で作成

工　事　経　歴　書

該当する工事があれば丸を付けて金額を記載（用紙Ａ４）

PC	土木一式工事
法面処理	とび・土木・コンクリート工事
鋼橋上部	鋼工事構造物

（建設工事の種類）　とび・土木 コンクリート　工事　（　税込　・　税抜　）

↓建設業法第26条

注文者	元請又は下請の別	JVの別	工事名	工事現場のある都道府県及び市区町村名	配置技術者 氏名	主任技術者又は監理技術者の別（該当箇所にレ印を記 主任技術者	監理技術者	請負代金の額	うち、・PC ・法面処理 ・鋼橋上部	工期 着工年月	完成又は完成予定年月
A(個人)	元請		A邸新築工事の基礎工事	北海道浦河町	縞栗鼠　太郎	レ		3,000 千円	千円	平成 29 年 11 月	平成 30 年 1 月
(株)〇〇不動産	元請		店舗新築工事の地盤改良工事	北海道様似町	縞栗鼠　太郎	レ		2,900 千円	900 千円	平成 30 年 2 月	平成 30 年 4 月
〇〇建設(株)	下請		駅ビル駐車場地盤改良工事	北海道様似町	縞栗鼠　太郎	レ		2,500 千円	千円	平成 30 年 7 月	平成 30 年 8 月
									千円	平成　年　月	平成　年　月
									千円	平成　年　月	平成　年　月
									千円	平成　年　月	平成　年　月
									千円	平成　年　月	平成　年　月
									千円	平成　年　月	平成　年　月
									千円	平成　年　月	平成　年　月
									千円	平成　年　月	平成　年　月
									千円	平成　年　月	平成　年　月
									千円	平成　年　月	平成　年　月
									千円	平成　年　月	平成　年　月
									千円	平成　年　月	平成　年　月

↓個人の氏名が特定されないようにする。↓

←共同企業体として行った工事は「JV」と記載

↓施工中に配置技術者の変更があった場合変更前の者も記載

↑以下の順番で記載
経審を申請しない場合
①完成工事の請負金額の大きい順。
②未成工事の請負金額の大きい順。
経審を申請する場合
①元請の完成工事をその合計金額の七割超えるまで請負代金の大きい順に記載
②残りの工事について全体の完成工事の七割を超えるまで記載
③上記において1,000億円又は軽微な工事が十件を超える部分については記載しない。

元請、下請にかかわらず主任技術者を配置する必要がある。ただし元請で4,000万円(建築一式工事の場合は6,000万円)以上の工事を請負う場合主任技術者にかえて監理技術者を配置しなければならない

↑
共同企業体として請負った工事は請負代金に出資の割合を乗じた額または分担した工事額を記載。
工事進行基準を採用している場合は請負代金とともにその完成工事高を()書きで付記。

ページごとの完成工事の件数及び合計
未成工事は一覧に記載しても算入しない→

小計	3 件	8,400 千円	900 千円	うち　元請工事 5,900 千円	900 千円

当該工事が複数ページにわたるときは
最終ページのみに当該工事の合計を記載→
様式三号の業種ごとの合計欄と一致すること

合計	3 件	8,400 千円	900 千円	うち　元請工事 5,900 千円	900 千円